

平成24年度第9回伊予市行政評価委員会 会議録

日 時：平成24年10月31日 18時30分～19時40分

場 所：第3委員会室

出席者：妹尾委員長 高橋副委員長 向井委員 武智委員 曾根委員 藤本委員
事務局（森田 窪田 向井）

1 開会

会議の成立及び傍聴者はいないことを確認した。

2 議事

(1) 報告事項

① 現在の取組状況

外部評価 全69件完了

経営者会議 第3回 11月12日開催予定

(2) 審議事項

① 第8回会議録の確認

- ・前回の委員会の内容を配布した資料を基に確認を行った。

② 行政評価（外部評価コメントの確認）

（委員長）

では、配布済みの資料（No. 41～69までの29件）について、修正等があれば発言をお願いしたい。

（委員）

修正及び確認いただきたい点が5箇所ある。

まず、「No. 43中山地域ふれあい館運営事業」の6番目のコメントについて、「民具の位置づけ」を「民具の位置付け」にしていきたい。

次に、「No. 46中山森林公園管理事業」の4番目のコメントにある「城跡」について「城跡（じょうせき・しろあと）」がいいのか「城址（じょうし）」がいいのか確認をお願いしたい。

次に、「No. 48交流促進センター管理運営事業」の3番目のコメントの「足腰の悪い方への配慮を」という部分について、私の発言ではないが、現在、スロープは改修されており、和室利用の際には座椅子も用意されているので、ある程度配慮されているのではないかと思う。

（委員）

それに関しては、主旨が伝わりきっていないと思うので後で発言させていただく。

（委員）

「No. 55 ふたみシーサイド公園管理運営事業」の6番目のコメントについて、「知恵をしぼって」を「全員が納得するのは難しいが」の後ろにするといいと思う。

最後に、「No. 59 伊予消防署整備事業」の5番目のコメントについて、「標高が低い場所に位置しているので、地震・津波に脆弱ではないかという不安もある。」としているが、これを読むと、消防署の躯体本体のことを言っているように読めるが、大規模な地震の際に、あの場所では液状化によって緊急車両が走れなくなるのではないかということが発言の主旨であった。

(委員長)

では、修正するならどういう表現がいいだろうか。

(委員)

「消防署施設周辺部の液状化により緊急出動を妨げる恐れがあるのではないか心配である。」でいいと思う。

先程提言した「城跡」についてはいかがか。

(委員長)

一般的な言葉はどちらだろう。

(委員)

意味として違いがあるのだろうか。

(委員)

明確な違いはないかもしれない。

(事務局)

辞書によると「城址」は「城跡」にリンクされているが、意味はどちらも同じようだ。

(委員長)

辞書で「城址」から「城跡」にリンクされているのであれば、「城跡」が一般的なのだろう。

(委員)

私からは、まず「No. 41 文化振興事業」の2番目のコメントについて、文書としては間違っていないが、伝えたかった部分としては、一つに伝承する芸能文化をもっと市民に啓発する必要があるということ。そして、その芸能文化が伊予市のどこに、どのようなものがあるのかということを中心に整理してほしいということだ。そのようなコメントに修正していただきたい。

次に、「No. 46 中山森林公園管理事業」について、ここで大事なのは来場者の捉え方だ。中山地域だけでなく、伊予地域、双海地域からどの程度の来場者がいるのかという捉え方が必要だということが言いたかったことだ。追加していただきたい。

次に、「No. 48 交流促進センター管理運営事業」の4番目のコメントについて、この発言の主旨としては、レストラン以外の部屋の使い勝手に配慮がいるということだ。高齢者が利用する際に座敷がいいのか椅子席がいいのかという部分を考えないといけない。決まりきった使用法だけではいけないということだ。例えば、座敷で椅子席が利用できるような柔軟な対応に配慮してリピート客を確保しないといけないと思う。

(委員長)

高齢者イコール座敷ではないということだ。

(委員)

「No. 50クラフトの里管理運営事業」の2番目のコメントについて、「敷地全体のレイアウトを変更する」という内容を追加していただきたい。

次に、「No. 53中山フラワーハウス管理運営事業」の2番目のコメントについて、コメントということになるかもしれないが、「バスの運行」の部分には、「松山市内までのバスの運行」ということにしていただきたい。そこまでやる必要があるということを行わないといけないと思う。追加になるが、「松山市のカルチャースクールあるいは生涯学習機関とタイアップして園芸教室を実施する」ということも必要だと思う。

次に、「No. 55ふたみシーサイド公園管理運営事業」について、まずは削除していただきたい部分が2箇所ある。「過去に転落事故があったと認識しているが」と「大きな失敗例にならないようにしてほしい。」という部分だ。文書にすると、どうも見下したような感じを受けるが、そのような意味の発言ではなかったように思うので削除することが妥当だろう。追加していただきたいのは、夕日のミュージアムの今後の利用法についてだ。シーサイド公園には高齢者施設のバスがよく訪れているので、施設利用者が過ごせるサロンとして使ってはどうかということ。その際には、福祉現場に精通した方と相談しながら実施してほしいと思う。サロンとして使えば高齢者と子供の交流も考えることができ、また、漁業の歴史を学ぶ場として活用してもいいと思う。

次に、「No. 61地域振興計画事業」の6番目のコメントについて、「経費でできるところまでというアライバイ作りにならないようにしていただきたい。」のニュアンスはあっていると思うが、しっかりした事業計画と経費計画の策定と情報公開が必要であるということが発言の主旨だ。

最後に、「No. 62起債管理事務」の3番目のコメントについて、最近、地方交付税の交付遅延によって自治体が借入れに迫られているということが報道されているが、伊予市も借入れに迫られる事態にならないとも限らないので、借入金の減額、より低金利での資金調達に一層の努力をしていただきたいということを追加していただきたい。

(委員)

私からは、まず「No. 41文化振興事業」の1番目のコメントについて、「関係者」を「関係者とその家族」にすればいいと思う。

次に、「No. 57防災一般事務」の1番目のコメントについて、「地域の訓練の実施となると大変だと思う。」を「講演や訓練を実施しているということだが、大変だと思う。」に「モデル地区として」を「モデル地区で」とすればいいと思う。

次に、「No. 64庁舎等建設検討事業」の4番目のコメントについて、「手順はどうにしろ」を「手順については」にすればいいと思う。

次に、「No. 65障害者団体育成事業」の2番目のコメントについて、「補助の」を「補助が」にしていただきたい。

最後に、「No. 67過疎バス運行事業支所事務」の1番目のコメントについて、「移行できていると思う」を「移行できたと思う」にすればいいと思う。

(委員長)

他に意見はないか。

ないようなので、確認は以上とする。

(3) 次回の委員会

- ① 日程 平成25年1月30日(水) 18時30分から
- ・平成25年度外部評価事業(平成24年度事務事業)の抽出を行う。
 - ・1月中旬頃に関係資料を各委員へ配布する。

(4) その他

3 閉会